

NISHIMURA
& CO., LTD.



西村貿易株式会社

東京白金台ショールーム

〒108-0071 東京都港区白金台3丁目2-10 白金台ビル1F

TEL : 03-5793-3694 FAX : 03-5793-3698 営業時間 : 10:00~18:00 月曜定休

[WEBサイト]



<https://maitland-smith.jp>



優雅なるシノワズリの世界

Luxe décor
COLLECTION
Vol.2

Interior Blue



優雅なるシノワズリの世界 — Interior Blue —

かつて青花磁器は、東洋美術の精華として、遠くヨーロッパの王侯貴族をも魅了してきました。その端正で深みのある青の表現は、海を越えてマイセンやデルフトといった名窯に多大な影響を与えたことでも広く知られています。

このたびご紹介するのは、そうした青花の精神を受け継ぎながら、弊社と長年親交のある創業130年の窯元が、現代の空間に調和するよう特別にリプロダクトした、気品あふれる磁器のコレクションです。

絵付師の息遣いが感じられる静謐な筆致が幾重にも重なり、白磁を鮮やかに彩ります。絵柄に込められた意味を紐解けば、そこには幸せを願う静かな祈りが息づき、東洋の叡智が育んできた美と精神の深さに心打たれます。

「青」の深みをテーマに、伝統が生み出す、優雅な調度品の数々をどうぞご堪能ください。



W233
ジャーオンスタンド
W35×D35×H75 cm



W259
ウォールプラケット
W22×D10×H37 cm



W234
ジャーオンスタンド
W35×D35×H75 cm



W231
ジャー
W27×D27×H49 cm



W232
ジャー
W27×D27×H49 cm



W239
ジャー
W25×D25×H30 cm



W255
ベース
W24×D10×H34 cm



W279
スツール
W49×D49×H50 cm



トンボと水蕨(みずわらび)の文様

トンボと水蕨(みずわらび)の文様は、自然の静けさと調和を繊細に表現する優雅なデザインです。古代中国では、トンボは季節や収穫を知らせる幸運の象徴とされ、「蜻蜓点水」の如く軽やかで洗練された技を称える比喻にもなりました。水蕨と組み合わせることで、再生や生命力の象徴性が加わり、あらゆる家具や装飾品に格調高い美しさと文化的深みを添えます。現代空間でも、洗練された象徴的存在として空間を引き立てる文様です。

タバコの葉の文様

タバコの葉の文様は、コロンブスが新大陸で出会った貴重な植物に着想を得た、歴史と神秘に満ちたデザインです。緑の葉と白やピンクの花を咲かせるこの植物は、17世紀には金にも匹敵するほど高価な存在でした。18世紀以降は、富と繁栄を象徴する縁起の良いモチーフとして広く愛され、陶磁器や装飾芸術に用いられてきました。伝統的な意匠でありながら、藍と金のコントラストがモダンな空間にも調和し、上質でスタイリッシュなインテリアを演出します。

W229
ランプ

W40.5×D40.5×H59.5 cm



W276
ランプ

W27×D27×H50 cm



W282
プランター

W33.5×D36×H35 cm



W281
プランター
W25×D22×H20.5 cm



W240
ジャー
W21.5×D21.5×H42 cm



W223
プランター
W38×D38×H41 cm



W283
プランター
W49.5×D22×H23.5 cm

W222
バグ (ペア)

W26×D13×H22.5 cm (右)
W22×D13×H23.5 cm (左)

W262
ティッシュボックス

W29×D17×H11.5 cm

W230
ランプ

W40.5×D40.5×H72 cm



W269
コンポート

W20×D20×H10.5 cm

W268
コンポート

W20×D20×H10.5 cm

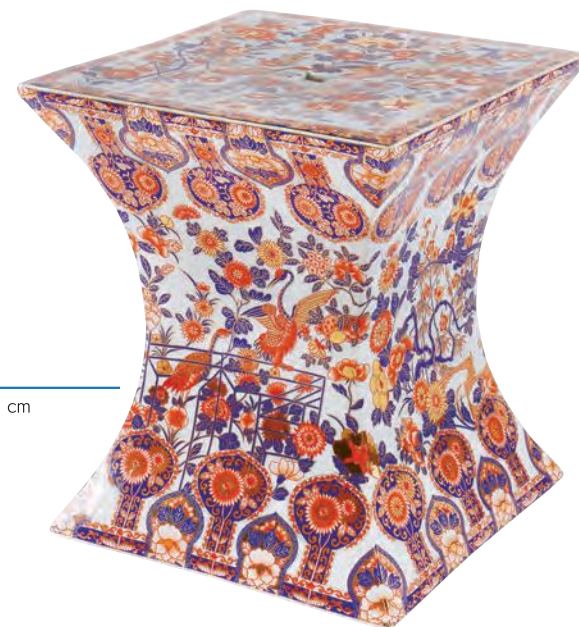


魚と藻の文様

魚と藻の文様は、中国磁器に伝わる伝統的な装飾で、自由や安楽を象徴する魚と、繁栄や豊かさを意味する藻を組み合わせた吉祥の意匠です。元末から明初に始まり、明の嘉靖年間には青花磁器で人気を博しました。清代には華やかな粉彩磁器にも多彩な魚が描かれ、豊穡と調和の象徴として発展します。特に金色の鯉は「龍門を飛び越え龍に変わる」という伝説に基づき、成功や困難の克服を意味する吉兆とされました。黒地のスツールに手描きの金彩で施されたこの文様は、伝統美と縁起の良さを兼ね備え、空間に格調高い華やさを添えます。

W244
スツール

W38×D38×H45 cm



W278
スツール

W38×D38×H45 cm



W243
スツール

W38×D38×H45 cm



[梅]



[蘭]



[竹]



[菊]

四君子スツール

上質な青花磁器に「四君子」を手描きで表した、優雅で品格あるスツールです。「四君子」とは梅・蘭・竹・菊の四植物を指し、それぞれが理想の人格や美徳を象徴します。梅は寒中に咲く強さと希望、蘭は静かに香る上品さ、竹はまっすぐに伸びる誠実さ、菊は秋に咲く清らかさと長寿を表します。宋代の文人が自然に理想の心を見いだしたことに起源を持ち、日本にも伝わり今も格調高い美として愛されています。澄んだ青花の色合いと繊細な筆づかいが調和し、空間に静けさと優雅な趣を添える一台です。

W245
スツール

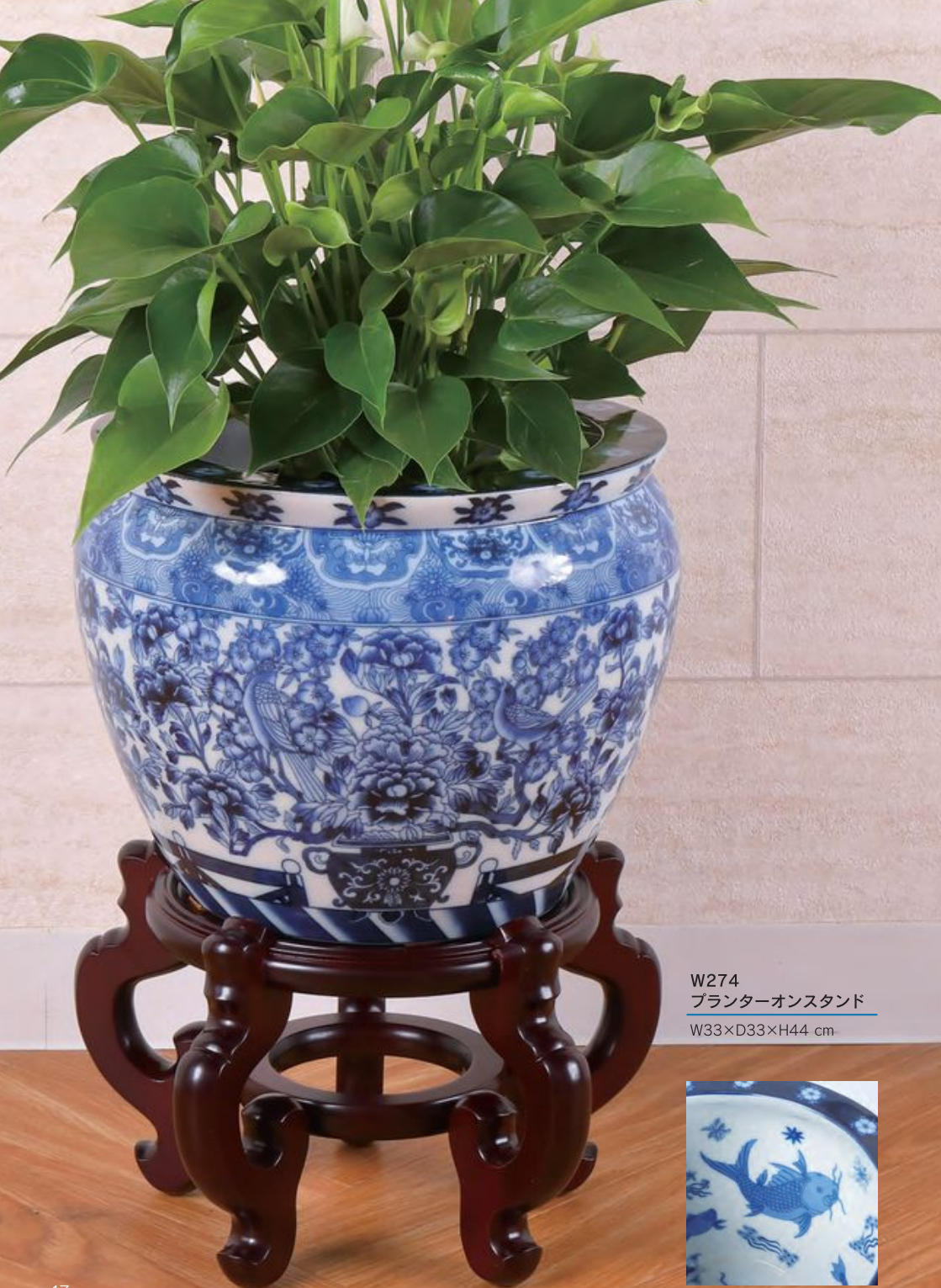
W38×D38×H53 cm



W251
ベース

W18.5×D16×H31 cm





W275
プランターオンスタンド
W38×D38×H48 cm





時を越えて蘇る、SATSUMAの美

— 明治の輸出陶磁にインスパイアされた現代コレクション —

19世紀後半、薩摩焼は「SATSUMA」として欧州の万国博覧会に出品され、緻密な金彩と華やかな錦手によって王侯貴族やコレクターを魅了しました。

その多くは海を渡り、今なお世界各地の美術館や邸宅に大切に収蔵されています。

当時の「輸出薩摩」は、鹿児島の本場のみならず、京都や横浜、東京、大阪など日本各地で制作され、いずれも「SATSUMA」の名で広く知られ、欧米市場を席巻しました。

本コレクションは、そうした里帰り品に着想を得て、現代に誕生した作品の数々です。菊や牡丹をはじめとする吉祥の花々が百花繚乱に咲き誇り、金彩と錦手が細部にまで美しく施されています。その気品ある仕上がりは、明治期という激動の時代に果敢に世界へ挑戦した職人たちの気概を映し出しつつ、現代の空間に調和する新たな輝きを放ちます。

一点ごとに宿る華麗な装飾と精緻な描写は、当時の美意識を体感させるとともに、現代のインテリアにも格を添えてくれるでしょう。

時代を超えて受け継がれる「SATSUMAの美」——

その真髄をぜひお手元でご堪能ください。



W254
ベース

W20×D20×H30.5 cm



W250
ベース

W30×D30×H29 cm



W249
ベース

W21.5×D21.5×H21 cm



W271
コンボート

W26×D26×H13 cm



W253
ベース

W22×D22×35.5cm